

第4回 清水港カーボンニュートラルポート協議会 議事概要

日 時 : 令和4年11月14日(月) 14:00~15:35

開催形式 : 対面及びWEB形式

【議事概要】

○ 構成員からの報告

- ・ ENEOS(株)水素事業推進部中川グループマネージャーより、「ENEOSの水素社会実現への取組み」と題して、カーボンニュートラルの実現に向けた社内取組みの説明があった。
- ・ 具体的に国内では、再エネ・水素・合成燃料等、カーボンニュートラルに適合したサプライチェーン構築を目指す。
- ・ 清水区製油所跡地においては、メガソーラー等による再エネ電力にてグリーン水素を製造し、水素ステーションで供給する予定。港湾エリアの地域特性を活かした多様な水素需要を創出することで、地産地消型の水素利活用モデルを展開していく。
- ・ 水電解型水素ステーションは、静岡市初の取組みで、2024年度中の開所を目指す。

○ 事務局からの報告

- ・ CNP 形成計画の策定に向けたアンケート及びヒアリング調査について、目的や対象企業の考え方等の概要を説明するとともに、各質問に関する項目の結果について、現状や将来の次世代エネルギー利用の傾向、課題や要望等を説明した。

○ 事務局からの協議

- ・ 清水港 CNP 形成計画の策定に必要な基本事項として、骨子等を説明するとともに、アンケート及びヒアリング調査の結果から、清水港における2013年と2021年のCO₂排出量の推計値や、目標年次である2030年度及び2050年のCO₂排出量の削減目標値などを示した。
- ・ また、CO₂排出量の推計値や削減目標値から、水素・燃料アンモニア等の次世代エネルギー転換想定として、需要推計や供給目標等を示した。
- ・ 今後、引き続きヒアリング調査検討を進め、年明けの第5回 CNP 協議会にて、形成計画の素案を提示予定。また、第5回の意見を踏まえパブリックコメントを実施する予定である。
- ・ 第6回清水港 CNP 協議会では、パブリックコメントの意見を反映させた清水港 CNP 形成計画(案)を提示し、年度内を目途に公表を予定していく。